

豚熱（CSF）対策について

農政課

1 農場・野生イノシシの状況（令和3年5月20日時点）

（1）農場での発生状況

- ・全国で68農場
- ・群馬県では2農場（昨年9月に高崎市、今年4月2日に本市農場）

（2）豚熱ウイルスに感染した野生イノシシの確認数

- ・群馬県内で119件
- ・本市では7件（昨年12月に1件目を確認）

【参考】市内での豚飼養状況（令和2年2月時点、県資料）

事業者数 64

農場数 76 （内訳：芳賀1、桂萱4、城南9、

大胡11、宮城30、粕川4、富士見17）

飼養頭数 196,600

2 今後の対策

豚熱対策として総額1億円（5月臨時市議会）

（1）家畜防疫対策事業（6,165万5,000円）

農場の防疫対策を強化

- ・防護柵修繕、防鳥ネット、消毒施設の新設などの施設整備支援
補助率2/3、上限100万円
- ・動力噴霧器やイノシシ忌避剤等の購入支援
補助率10/10、上限40万円
- ・消石灰などの消毒資材の養豚農家への配布を年間で4回実施

（2）有害鳥獣駆除対策事業（3,834万5,000円）

感染源となっている野生イノシシの捕獲駆除を強化

- ・くくり罠500基を新たに設置
- ・狩猟期の捕獲奨励金を5,000円→1万円に増額
- ・有害鳥獣捕獲補助金を1万4,000円→2万円に増額

3 その他

- ・捕獲自動通報装置付くくり罠の設置（5月29日に宮城地区内で県、猟友会等と連携し設置予定）
- ・野生イノシシ対策用経口ワクチンの赤城南麓への散布（6月中旬）